

# 第1回産業戦略会議

2015.5.26





# 和歌山市の現状把握

## 1 和歌山市の現状について

- ◆産業振興と人口ビジョン
- ◆和歌山市の年齢別人口の推移
- ◆和歌山市の5歳階級別転入・転出状況
- ◆和歌山県の高校を卒業した学生の進学先状況
- ◆有効求人倍率・有効求人数と有効求職者数の推移
- ◆交通アクセスの状況

## 2 和歌山市の産業について

- ◆産業特性① 産業別付加価値額構成比（全国比）
- ◆産業特性② 産業別事業所数・従業者数・付加価値額構成比
- ◆産業特性③ 産業別の特化係数と労働生産性（全国比）
- ◆産業特性④ 和歌山市の産業別従業者数の実数（H24年）
- ◆産業特性⑤ 産業別開業率・廃業率（全国比）
- ◆製造業特性① 業種別事業所数・従業者数・付加価値額構成比
- ◆製造業特性② 業種別の特化係数と労働生産性（全国比）
- ◆製造業特性③ 従業者数・製造品出荷額・付加価値額の推移
- ◆製造業特性④ 事業所数ベースの特化係数（全国比）

## 3 和歌山市の観光・地域資源について

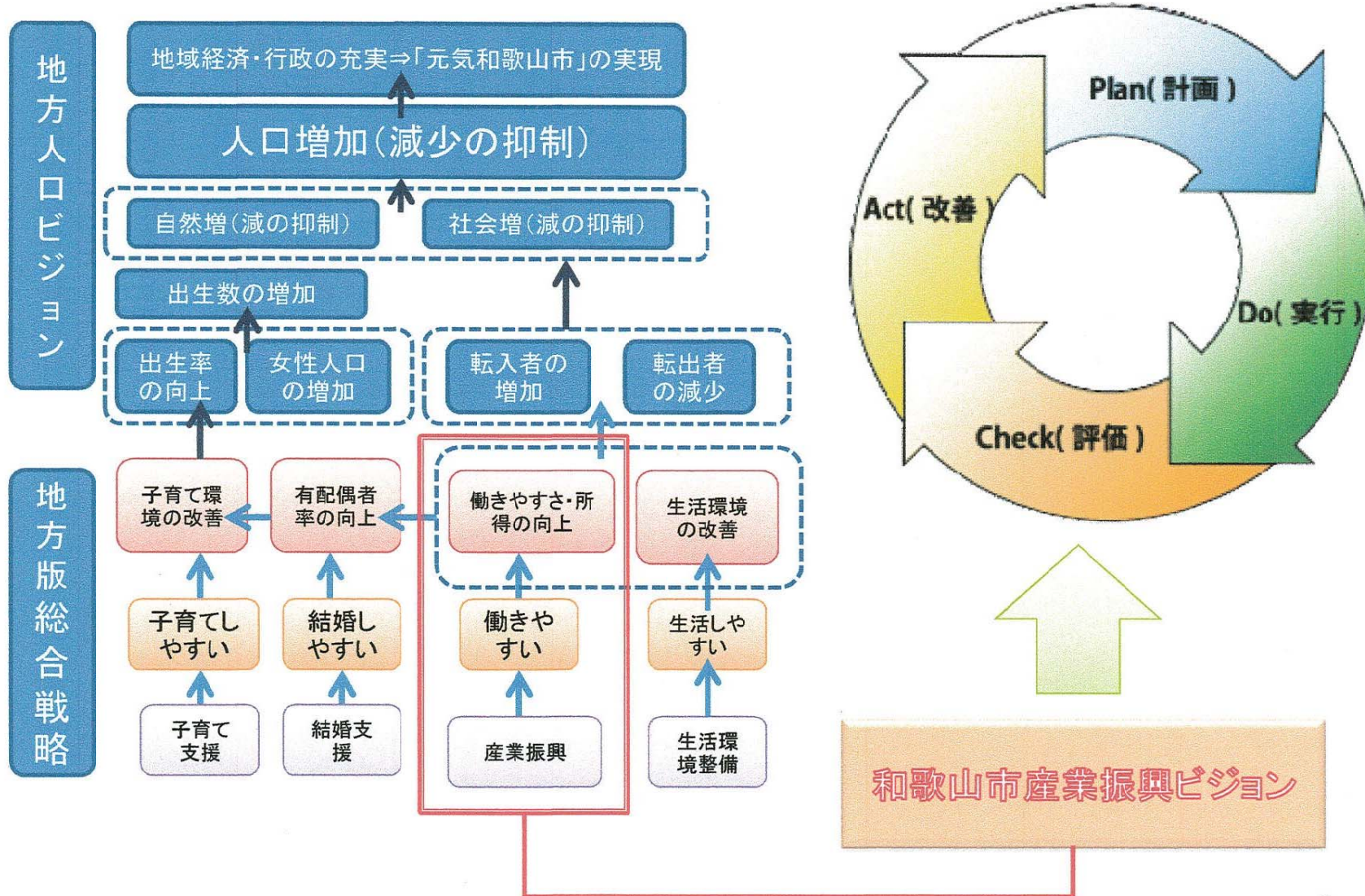
- ◆外国人観光客の急増①～③
- ◆観光資源となる可能性を秘めた自然と歴史・文化の存在
- ◆農産物や魚介類などの地域資源
- ◆和歌山市の地域ブランド 項目別ランキング



現状把握から導く4つの課題



# 産業振興と人口ビジョン

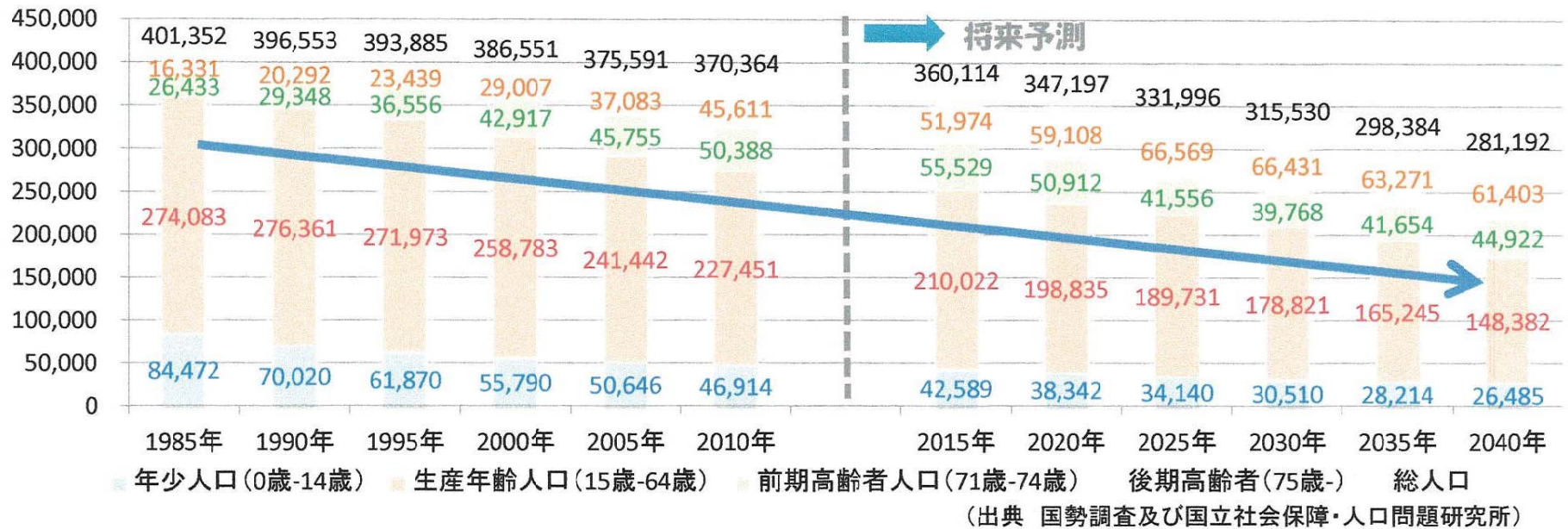




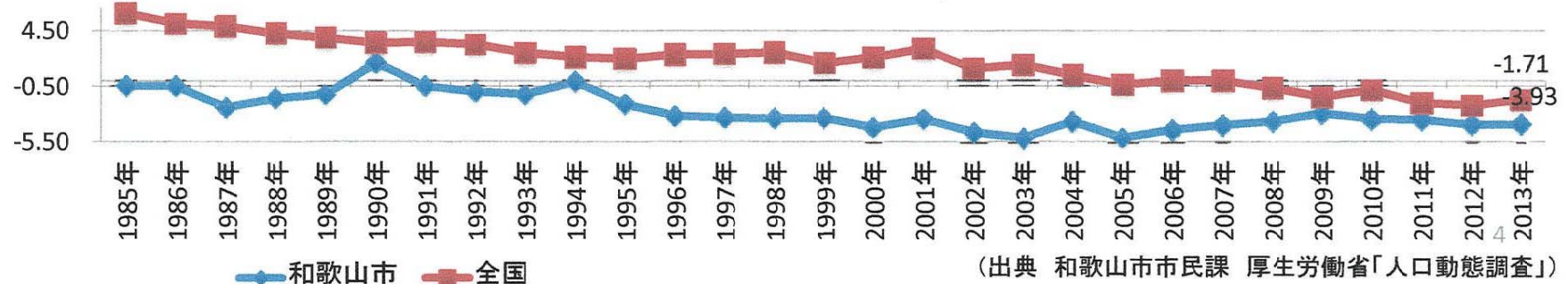
# 和歌山市の年齢別人口の推移

◆和歌山市では**全国平均を上回る水準での人口減少**が続いており、高齡化率も高い。  
**2040年には生産年齢人口が現在の3分の2近くまで減少すると予測**されている。

和歌山市の総人口・年齢別人口の推移(予測)



人口増減率・和歌山市と全国の比較(人口1,000人あたり増減数)

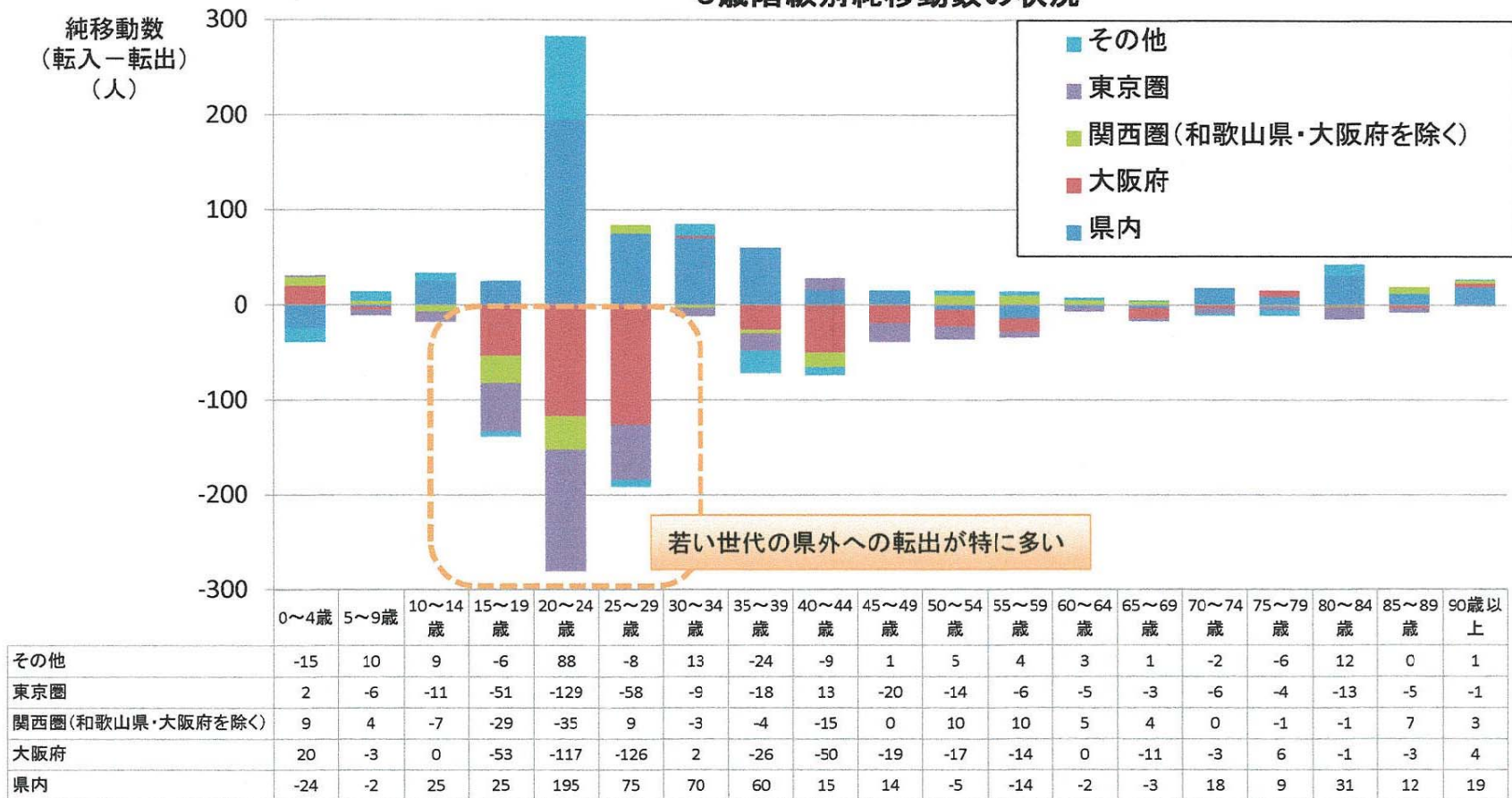




# 和歌山市の5歳階級別転入・転出状況

◆和歌山市の5歳階級別の転入・転出の状況を見ると、15歳から29歳までの大阪府や東京圏の転出が多い。進学や就職をきっかけに和歌山市から県外へと転出する傾向があると思われる。

5歳階級別純移動数の状況



若い世代の県外への転出が特に多い

※東京圏・・・東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県 ※関西圏・・・京都府・滋賀県・兵庫県・奈良県・三重県 (出典 2013年住民基本台帳人口)



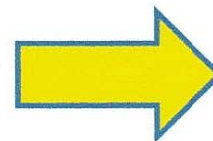
# 和歌山県の高校を卒業した学生の進学先状況

◆和歌山県の高校を卒業した学生の進学先は**9割が県外**となっている。

和歌山県の高校を卒業した学生の進学先大学の所在地域

	学生数	比率
北海道・東北	49	1.1%
関東・甲信越	371	8.3%
東海・北陸	216	4.8%
大阪	1,835	41.2%
滋賀	96	2.2%
京都	495	11.1%
兵庫	387	8.7%
奈良	124	2.8%
和歌山	479	10.8%
中国	232	5.2%
四国	105	2.4%
九州	65	1.5%
合計	4,454	100%

(出典 2014年学校基本調査 文部科学省)



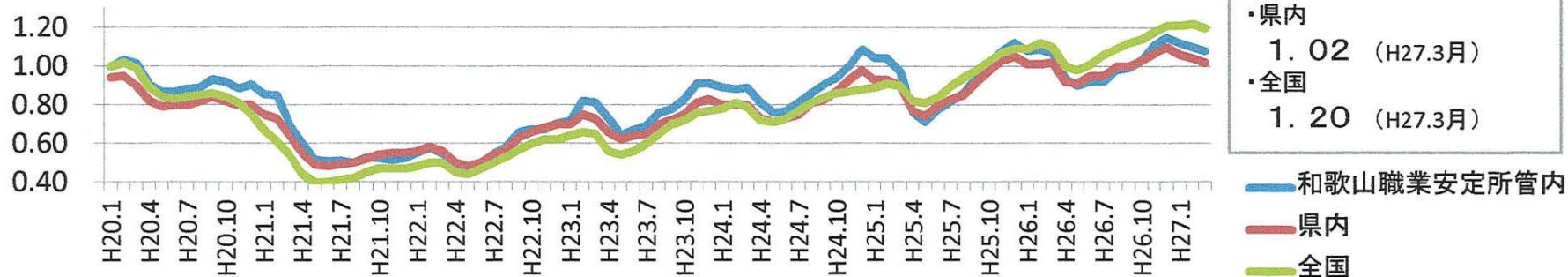
県外への流出  
3,975人(89.2%)



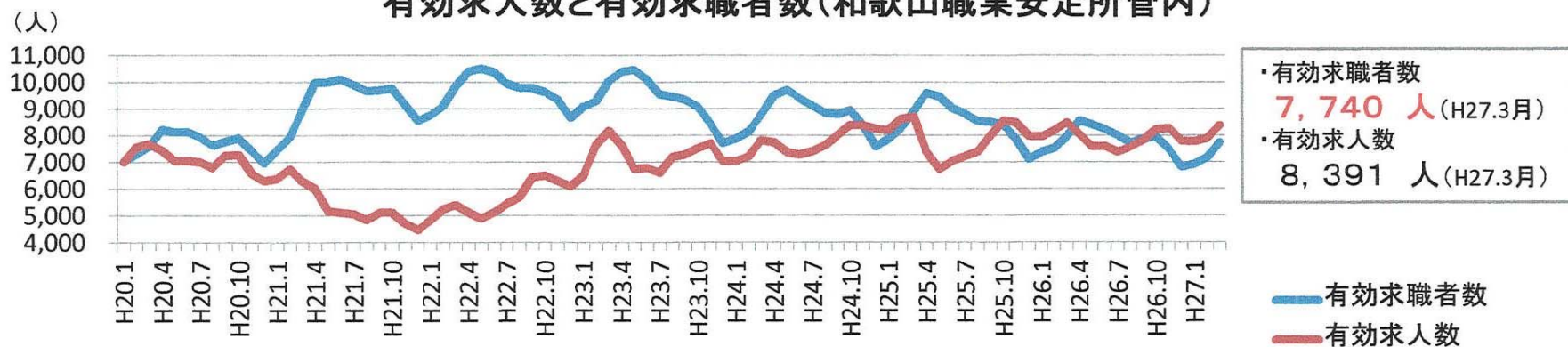
# 和歌山職業安定所管内の有効求人倍率・求人数・求職者数

◆有効求人倍率（和歌山職業安定所管内）は平成26年10月以降は1.00倍を超える値で推移しているが、全国的にはこれを上回る上昇傾向が続いており、**全国との差がやや広がつつある。長期的には有効求人数が横ばい、有効求職者数が微減傾向にある**ため、有効求人倍率が上昇している。

有効求人倍率(季節調整なしの原数値)



有効求人数と有効求職者数(和歌山職業安定所管内)



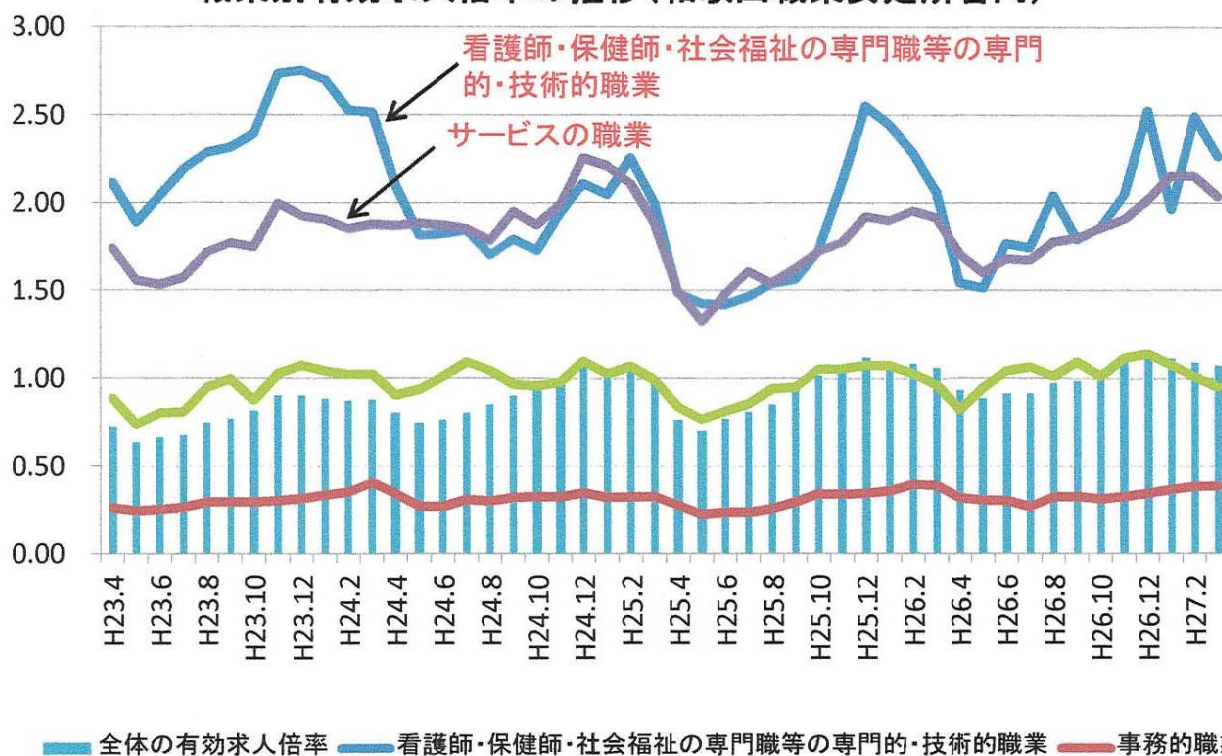
(出典 厚生労働省・一般職業紹介状況 ハローワーク和歌山・労働市場の動き)  
 ※和歌山職業安定所管内には和歌山市・岩出市・紀の川市が含まれる。



# 和歌山職業安定所管内の職業別有効求人倍率

◆和歌山職業安定所管内の職業別有効求人倍率を見ると、**看護師・保健師・社会福祉の専門職等の専門的・技術的職業等、サービスの職業(介護サービス、接客・給仕、飲食物調理など)の有効求人倍率が2を超えている**一方で、**事務的職業では0.5を切る**など、職種によりばらつきが見られる。

職業別有効求人倍率の推移(和歌山職業安定所管内)



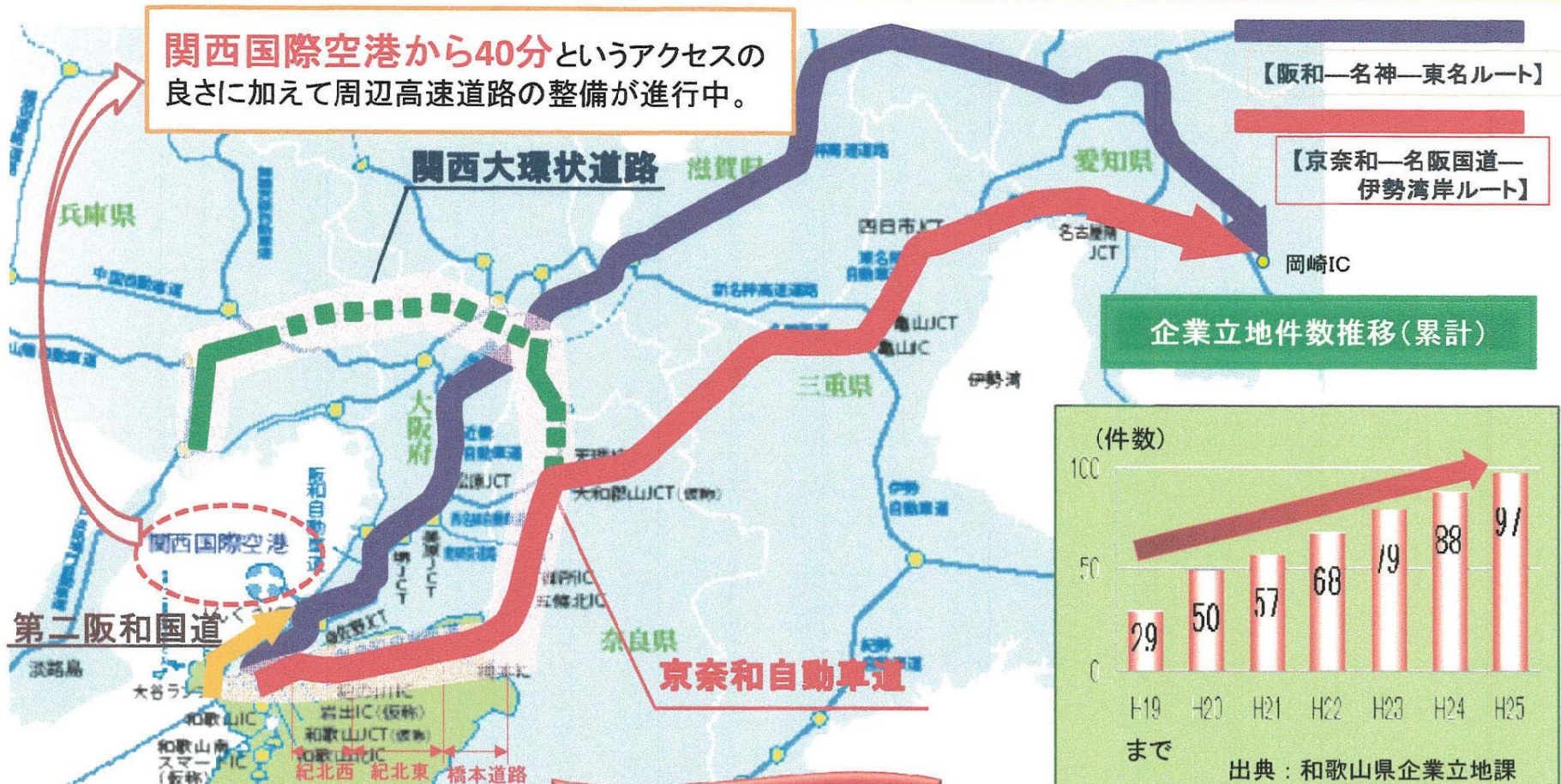
- ・全体の有効求人倍率  
**1.08** (H27.3月)
- ・看護師・保健師・社会福祉の専門職等の専門的・技術的職業  
**2.27** (H27.3月)
- ・事務的職業  
**0.39** (H27.3月)
- ・販売の職業  
**0.95** (H27.3月)
- ・サービスの職業  
**2.03** (H27.3月)
- ・生産工程の職業(製造業)  
**1.00** (H27.3月)

(出典 ハローワーク和歌山 職業別求人・求職バランスシート)

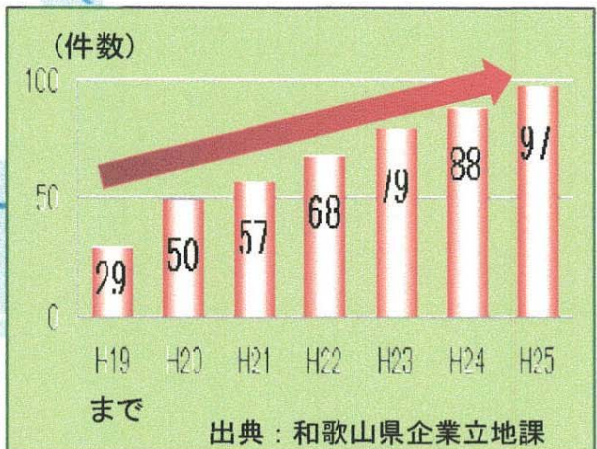


# 和歌山市の交通アクセス状況

関西国際空港から40分というアクセスの良さに加えて周辺高速道路の整備が進行中。



企業立地件数推移(累計)



**現状**

【阪和—名神—東名ルート】  
 料金 普通車 8,440円  
 特大車 22,330円  
 距離 297.4km  
 所要時間 3時間43分

**京奈和自動車道と名阪国道が接続されると**

【京奈和—名阪国道—伊勢湾岸ルート】  
 料金 普通車 3,570円  
 特大車 9,430円  
 距離 248.9km  
 所要時間 3時間33分

**H19年**

橋本道路開通

**H26年**

紀北東道路開通

京奈和自動車道の整備に伴い  
 企業立地件数が約3.3倍増加

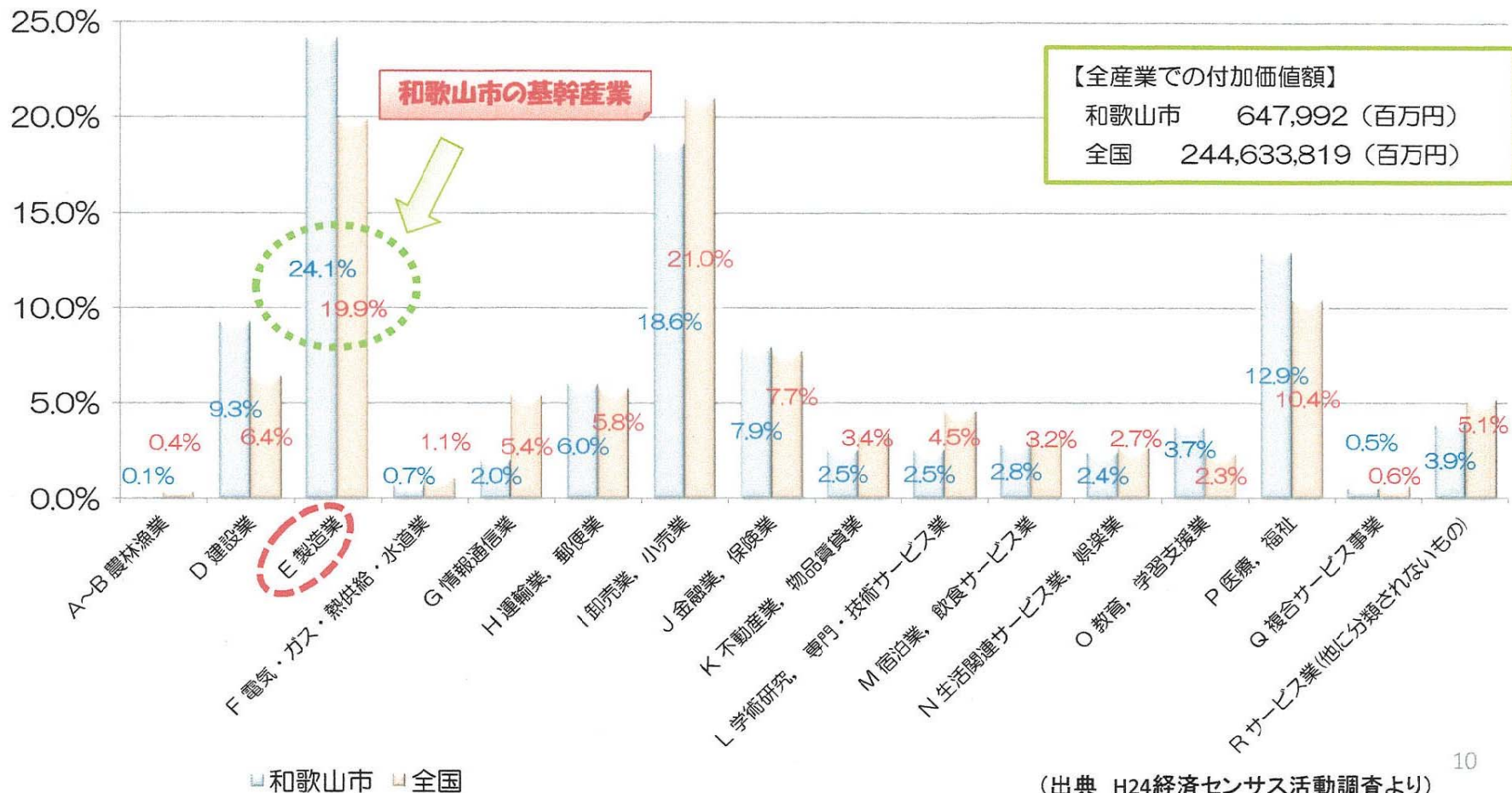
※和歌山IC～岡崎IC間で比較



# 和歌山市の産業特性①

◆和歌山市の産業の特性として、付加価値ベースで見ると**製造業が本市の地域経済の中心**を担っており、全国平均と比較しても全産業に占める構成比が高い。

産業分類別の付加価値額構成比（和歌山市と全国の比較）



（出典 H24経済センサス活動調査より）



# 和歌山市の産業特性②

## ◆事業所数

①卸売業・小売業 27.3% ②製造業 9.5% ③宿泊業・飲食サービス業 9.1%

## ◆従業者数

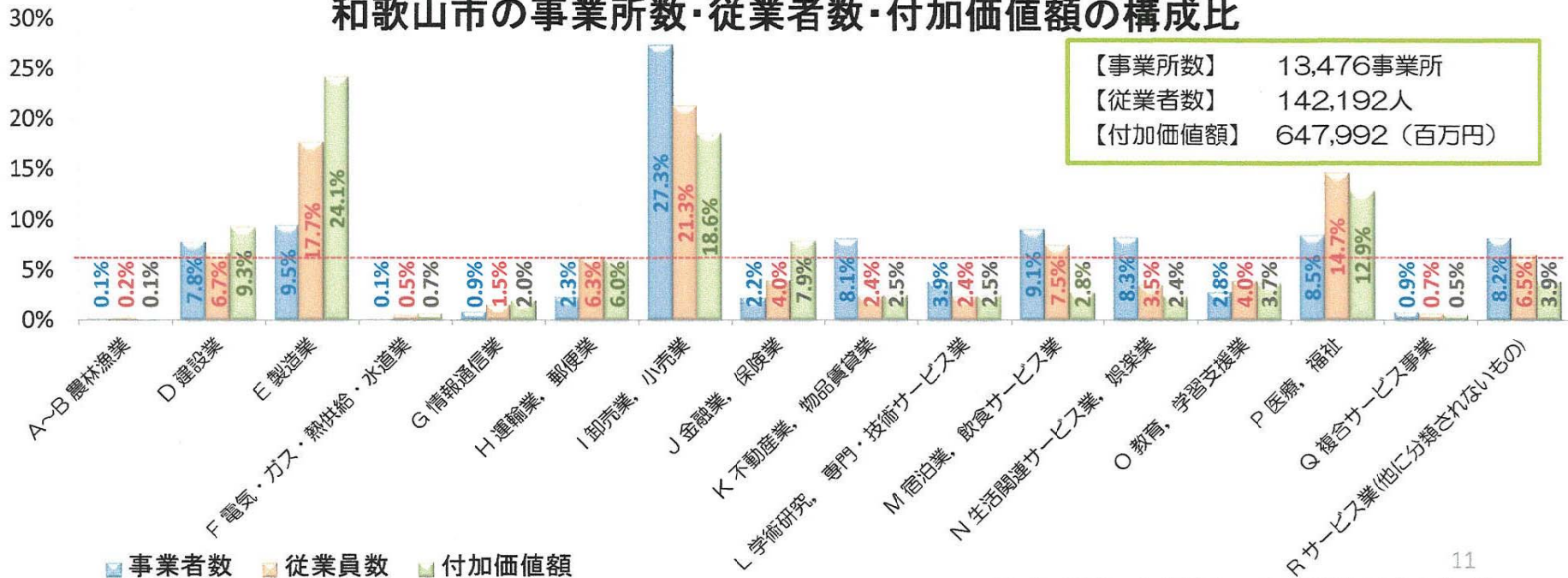
①卸売業・小売業 21.3% ②製造業 17.7% ③医療・福祉 14.7%

◆付加価値額 = 売上高 - 費用総額 (売上原価 + 販売費及び一般管理費) + 給与総額 + 租税公課

①製造業 24.1% ②卸売業・小売業 18.6% ③医療・福祉 12.9%

⇒ 事業所数・従業者数・付加価値額の構成比を見ると、**製造業、卸売業・小売業の貢献度が非常に高くな**っている。より少ない従業者数で効率的に高付加価値額を生んでいる製造業と付加価値では製造業に及ばないもののより多くの雇用の受け皿となっている卸売・小売業が本市の地域経済を支えている。

### 和歌山市の事業所数・従業者数・付加価値額の構成比

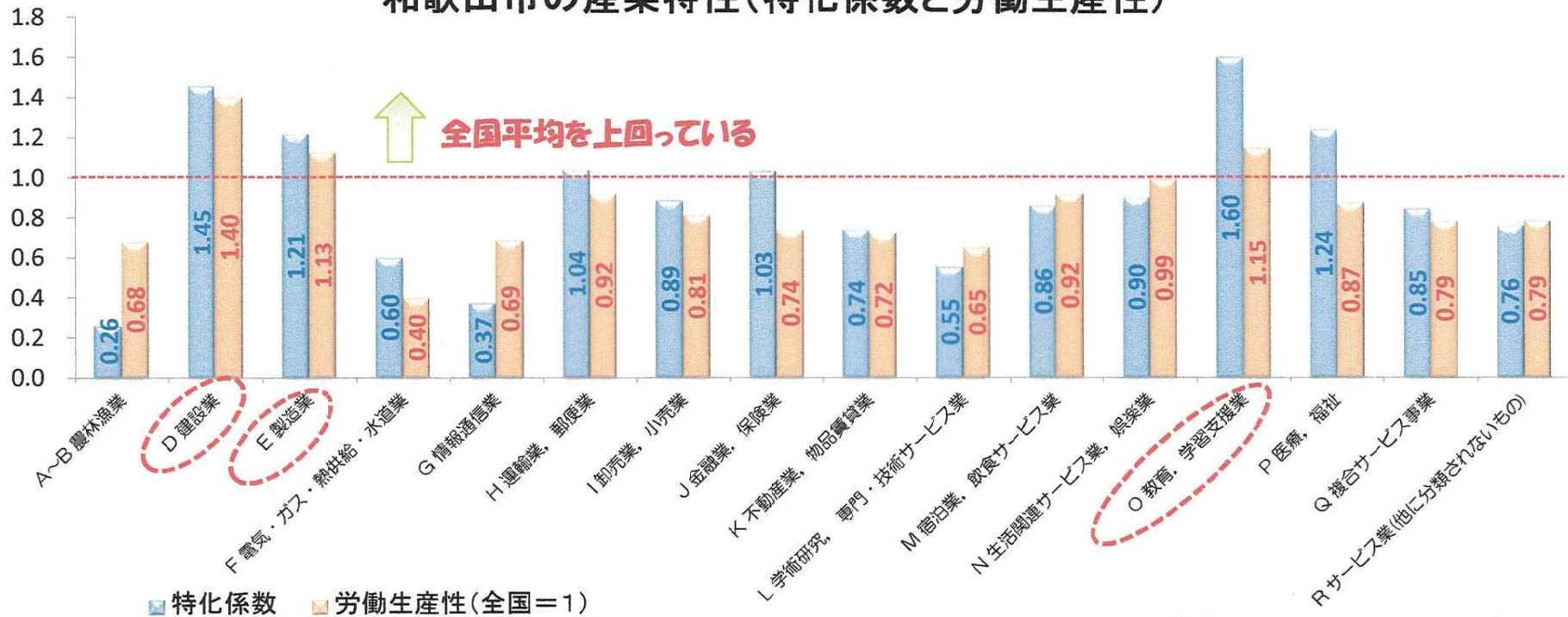




# 和歌山市の産業特性③

- ◆和歌山市の産業を産業分類別に付加価値ベースで全国平均と比較（特化係数）すると、**製造業、建設業、教育・学習支援業**などが全国平均を上回っている。労働生産性の比較でも上記3業種は全国平均を上回っている。
- ◆一方で、製造業、建設業、教育・学習支援業以外はすべての産業で労働生産性が全国平均を下回っており、全国を1とした場合の**和歌山市の全産業での労働生産性は0.92と全国を下回る水準となっている。**

和歌山市の産業特性(特化係数と労働生産性)



※特化係数=和歌山市の付加価値構成比÷全国の付加価値構成比)  
(出典 H24経済センサス活動調査から作成)

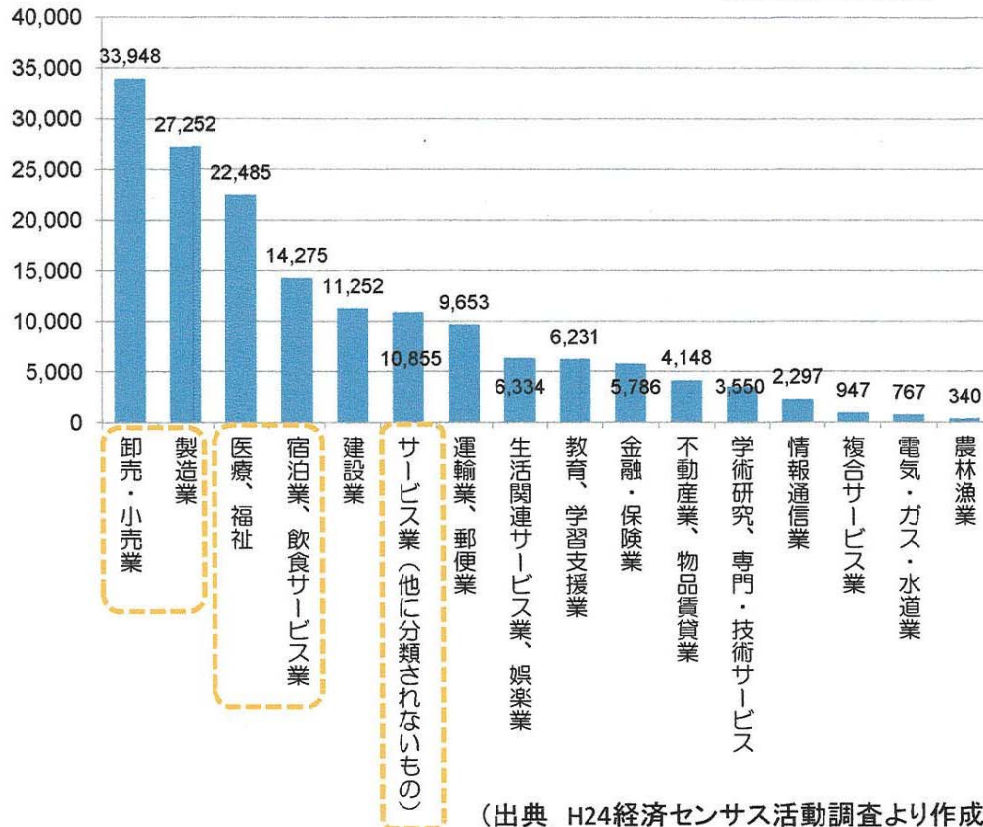


# 和歌山市の産業特性④

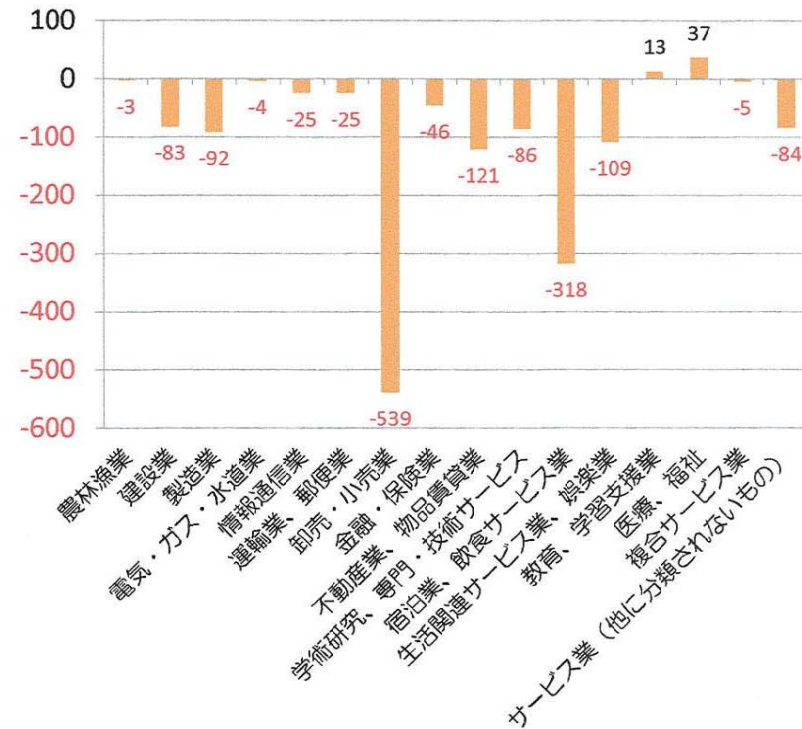
◆和歌山市の産業に従業者数の多い順に並べると、卸売業・小売業や製造業だけではなく、**医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業、サービス業**といった産業でも多くの雇用が生み出されている。

和歌山市の従業者数の多い産業（実数）

従業者数合計  
160,120人



(参考別表) H21⇔H24事業所増減数



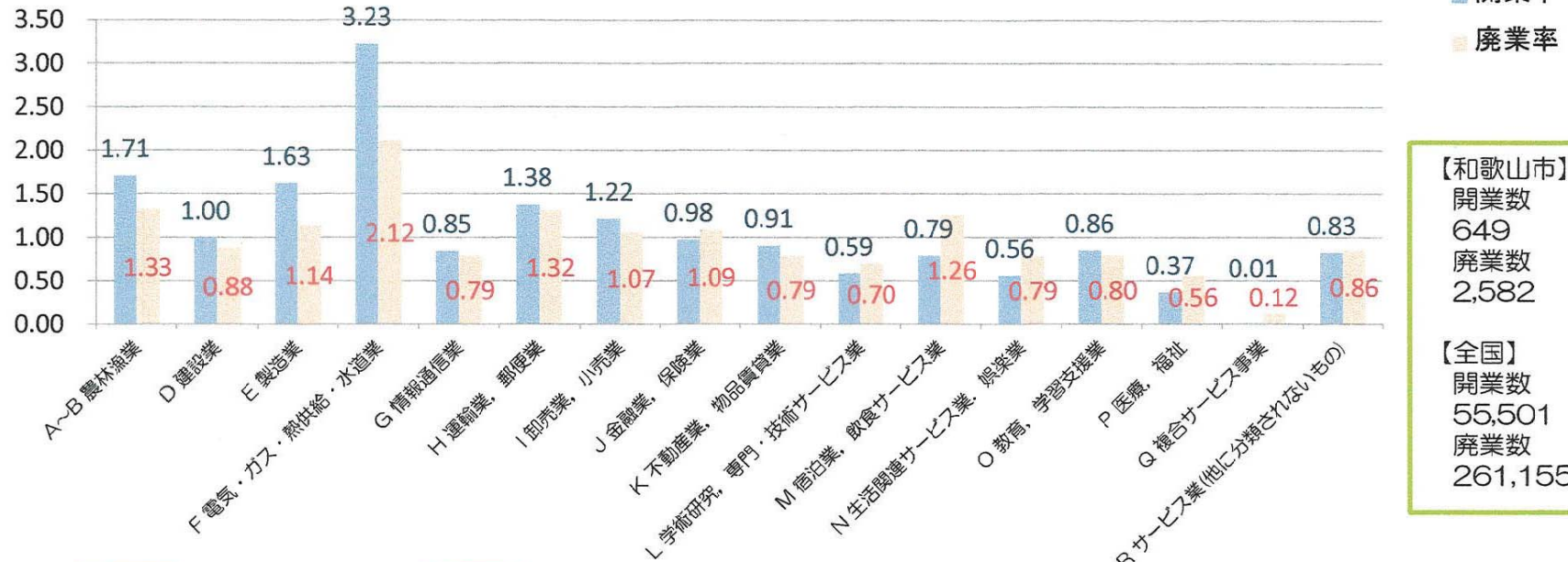
(出典 H24経済センサス活動調査・H21経済センサス基礎調査より作成)



# 和歌山市の産業特性⑤

◆和歌山市の廃業率は全国平均と比較して大きな差は見られないが、**開業率は全国平均をやや上回っている**。産業別では製造業、運輸業、卸売・小売業で全国平均を上回る開業率となっているものの、同業種では廃業率も高く全国平均を上回っている。また、全体的にサービス業での開業が全国と比較して低い割合にとどまっている。

全国を1とした場合の和歌山市の開業率と廃業率(H21年⇄H24年)



(出典 H21経済センサス基礎調査・H24経済センサス活動調査より作成)

和歌山市	全国
開業率 3.6%	開業率 3.1%
廃業率 14.4%	廃業率 14.5%

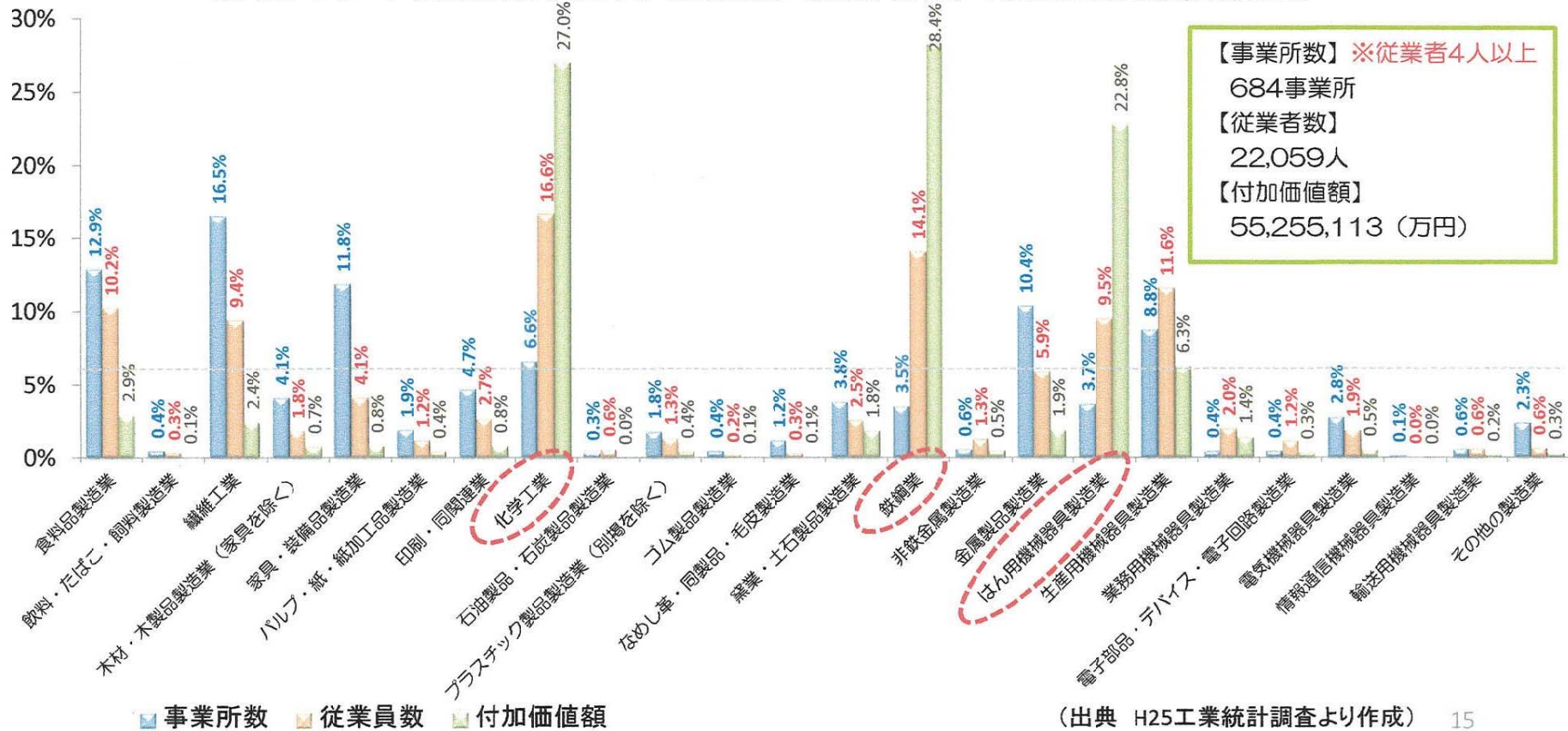
※開業率・廃業率  
H21経済センサス基礎調査からH24経済センサス活動調査までの期間で開業・廃業した事業所数をH21経済センサス基礎調査で把握された総事業所数で除して算出。



# 和歌山市の製造業特性①

◆和歌山市の製造業を付加価値構成比では上位から鉄鋼業、化学工業、はん用機械器具製造業となっている。一方、従業員構成比では上位から化学工業、鉄鋼業、繊維工業となっている。

和歌山市の製造業特性(事業所数・従業者数・付加価値額構成比)



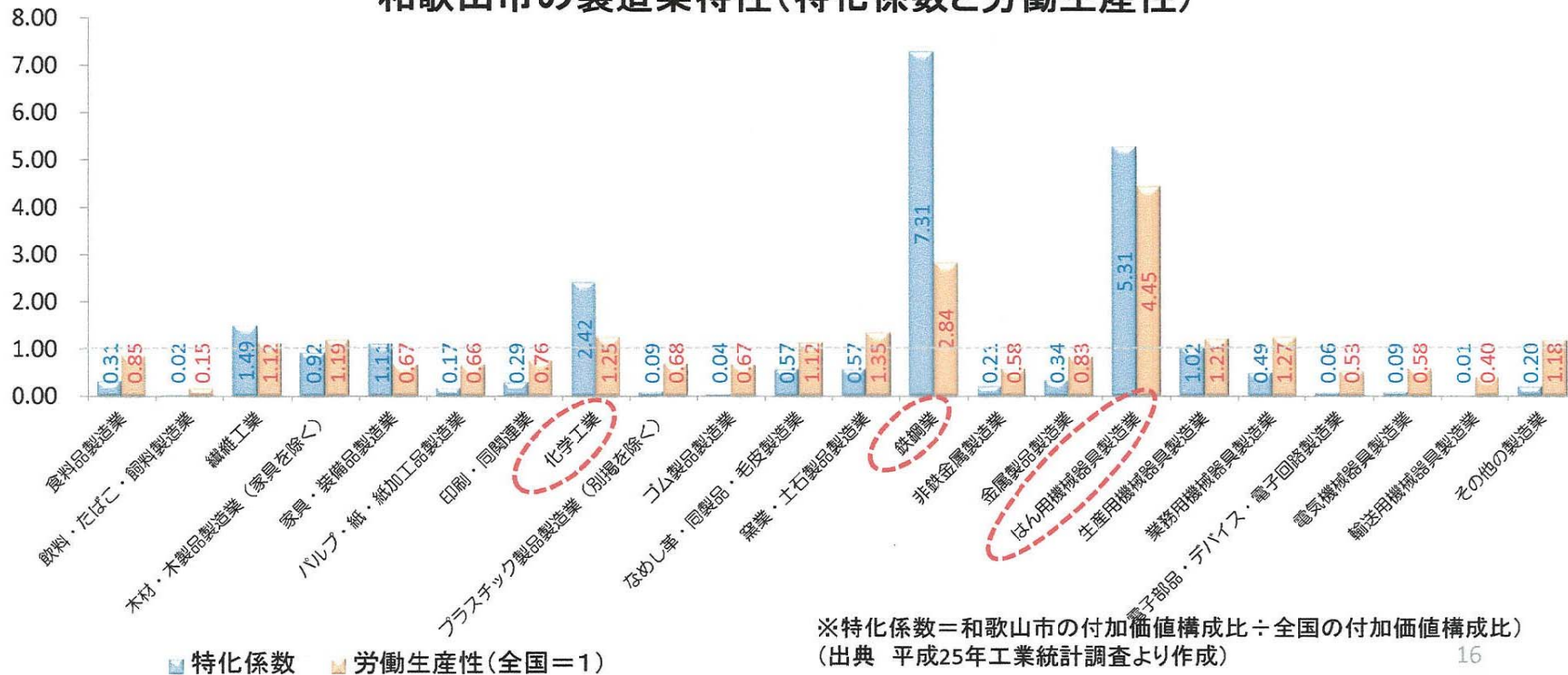
(出典 H25工業統計調査より作成)



# 和歌山市の製造業特性②

- ◆和歌山市の製造業を業種分類別に付加価値ベースで全国平均と比較（特化係数）ると、繊維工業、家具・装備品製造業、化学工業、鉄鋼業、はん用機械器具製造業が全国平均を上回っている。**特に鉄鋼、はん用機械器具製造業、化学工業**は特化係数が2を上回っており、労働生産性でも全国平均を大きく上回っている。
- ◆和歌山市の製造業は、**上記の3業種を除いても労働生産性が高い業種が多く見られ、製造業全業種で全国を1とした場合の和歌山市の労働生産性は1.88となっている。**

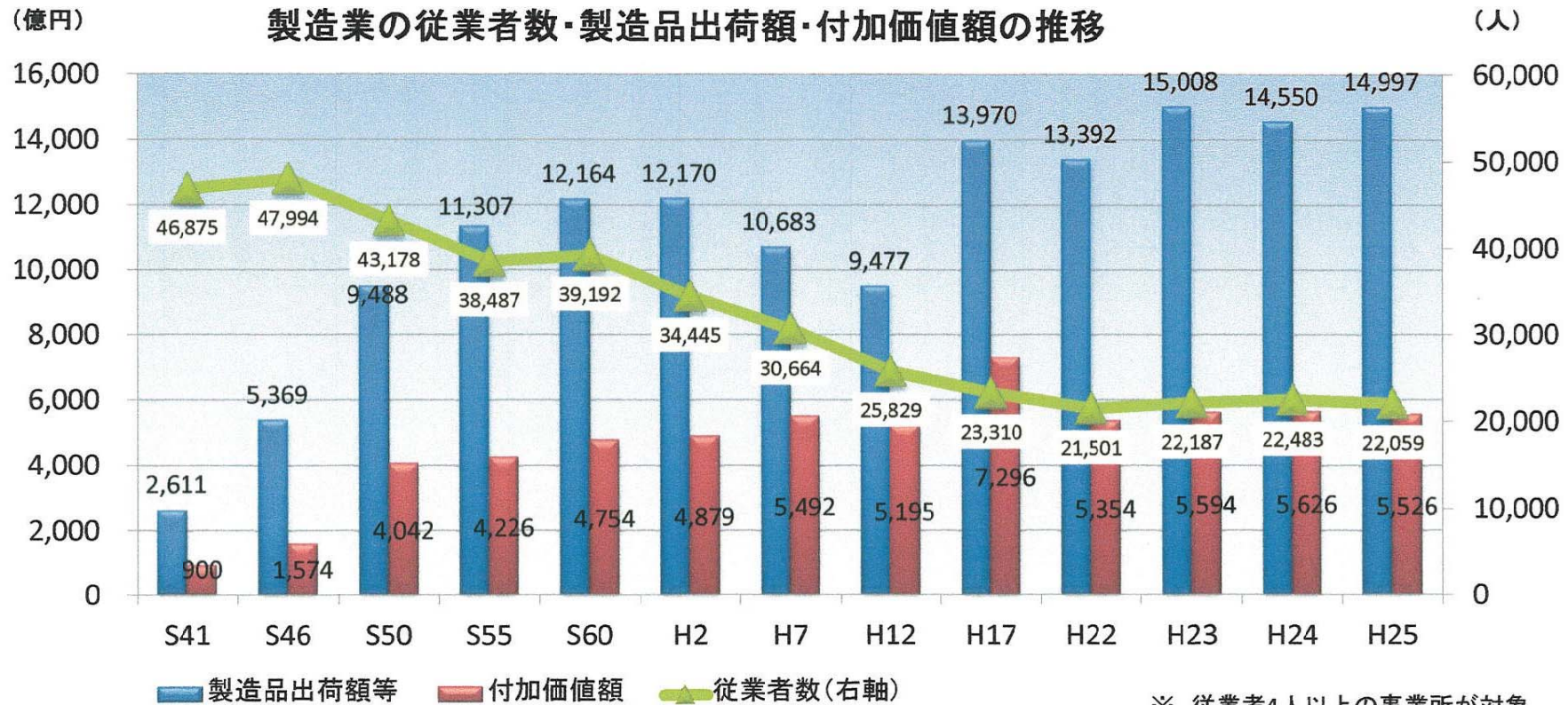
和歌山市の製造業特性(特化係数と労働生産性)





# 和歌山市の製造業特性③

- ◆本市の製造業は、景気の影響はあるものの、長期的には**製造品出荷額、付加価値額ともに増加傾向**にある。一方で、**従業者数については**近年は横ばいで推移しているものの、**長期的には減少傾向**にある。
- ◆製造業は技術革新等が起こりやすい分野であり、従業員が減少する中で付加価値を高めているため**労働生産性は高まっている**。



※ 従業者4人以上の事業所が対象

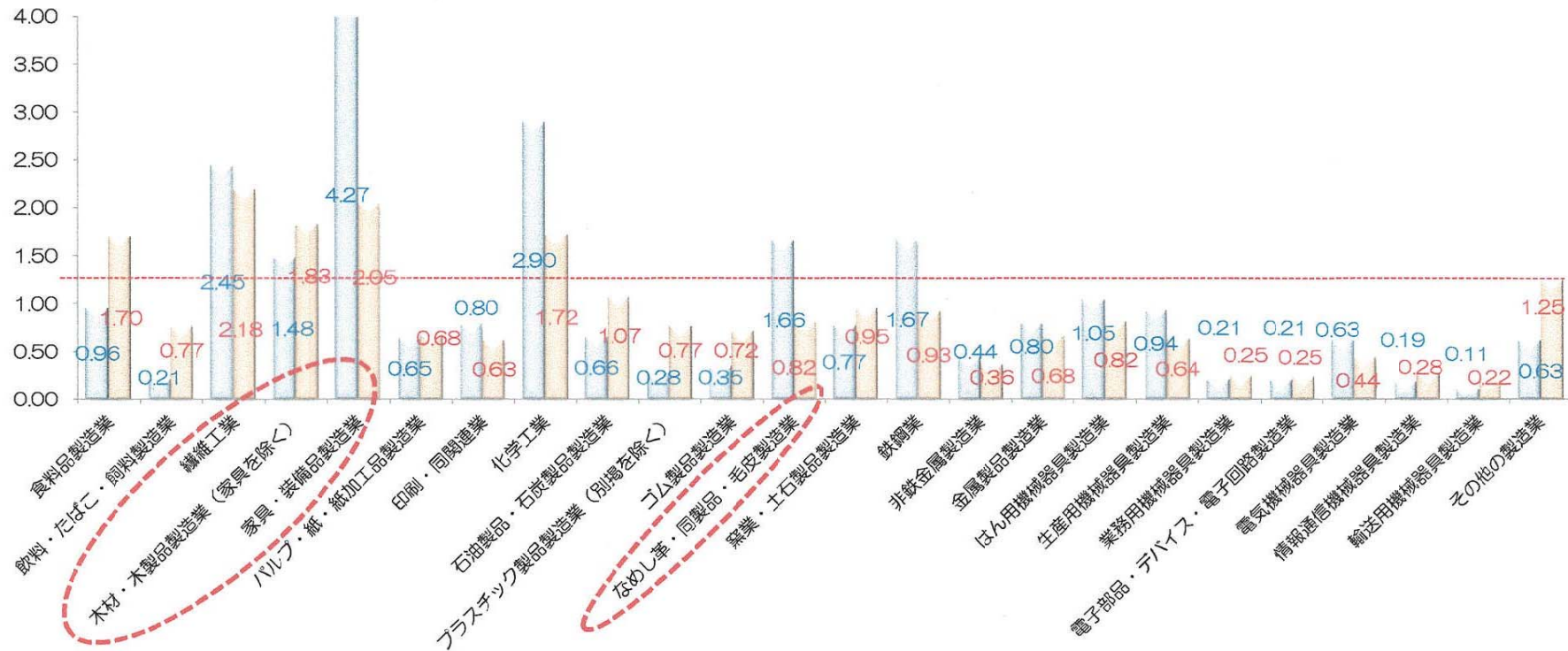
(出典 工業統計調査より作成)



# 和歌山市の製造業特性④

◆ **事業所ベース**で見ると、これまでの鉄鋼業、化学業、はん用機械器具製造業のほか、**家具・装備品製造業、繊維工業、なめし革・銅製品・毛皮製造業、木材・木製品製造業**など、規模としては決して大きくはないが、高い品質を誇り、地場産業として長い歴史がある産業の特化係数が高く、和歌山市の製造業の違った一面が見える。

事業所ベースでの特化係数（全国＝1）

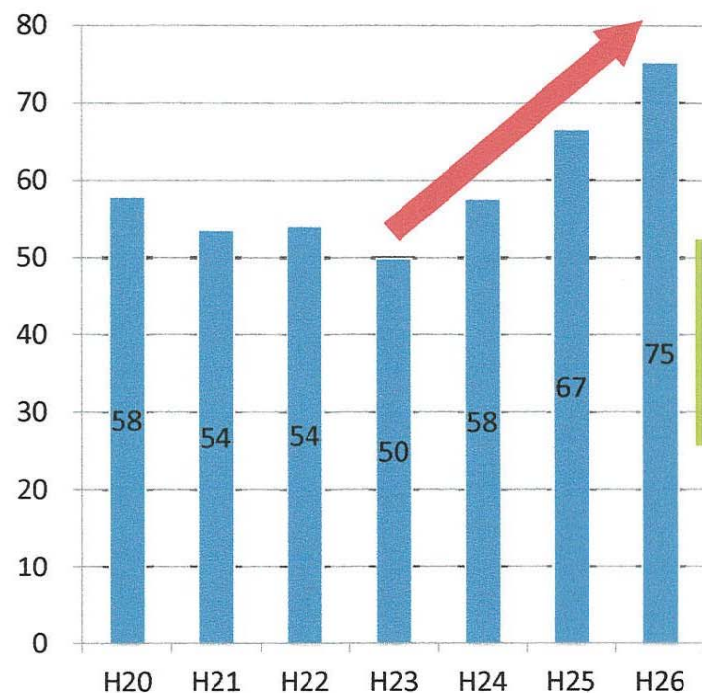




# 急増する外国人観光客①

◆和歌山市における観光客入込数は、紀南地域の水害や東日本大震災があった2011年を底に増加傾向にある。その増加を支えているのが**外国人観光客の急増**で、平成26年中の外国人宿泊者数は6万人となり、前年比で2.7倍、2011年比で約10倍となっている。

(万人) 和歌山市における宿泊者数推移(全体)



和歌山市における外国人宿泊者数推移



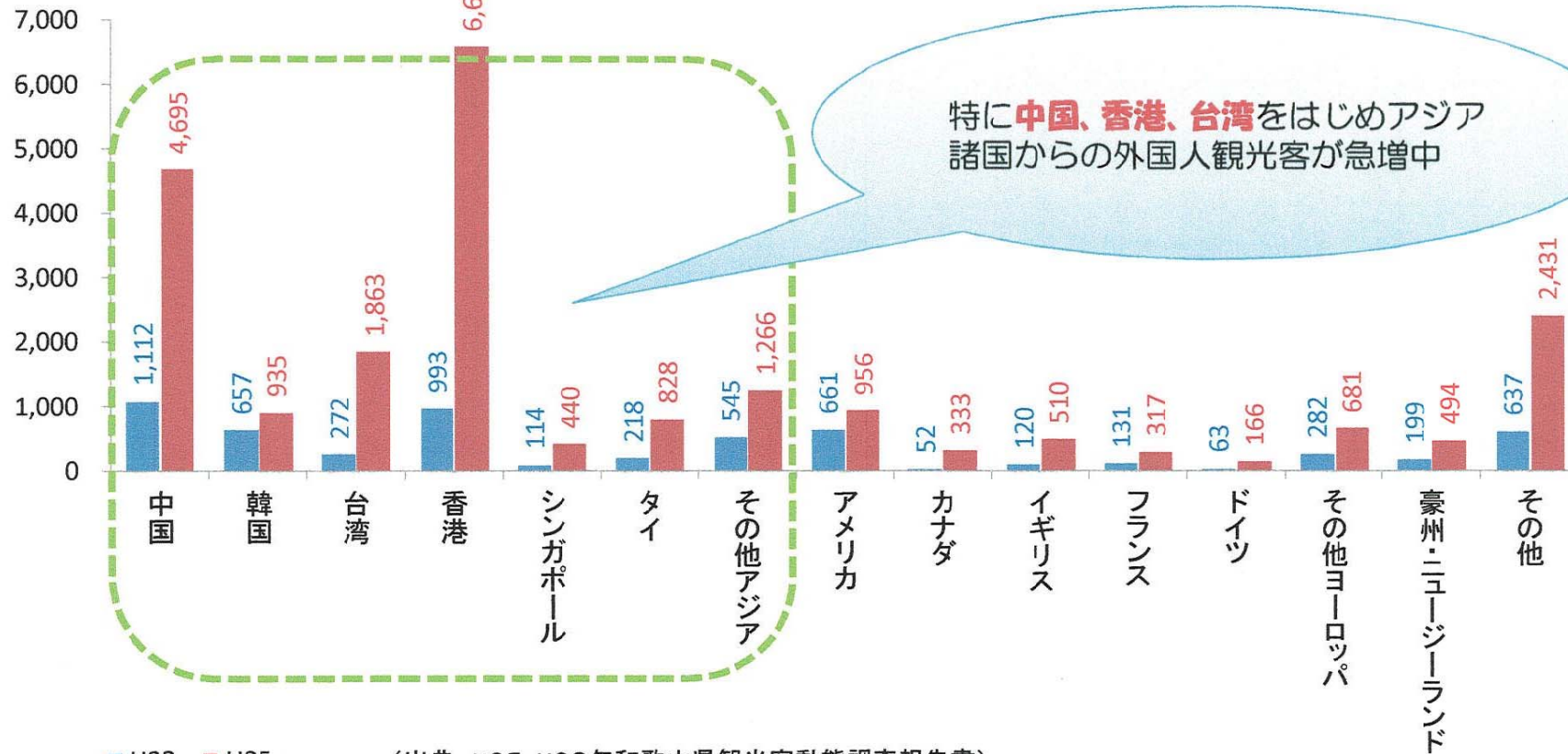
(出典 JNTO発表・和歌山県観光交流課発表資料より作成)



## 急増する外国人観光客②

◆和歌山市の外国人宿泊客を国別に見ると、近年は世界中のどの国からも観光客が増加している。特に中国、香港、台湾をはじめアジア諸国からの観光客増加が顕著となっている。

和歌山市の外国人宿泊客の国別推計(平成23・25年)



■ H23 ■ H25

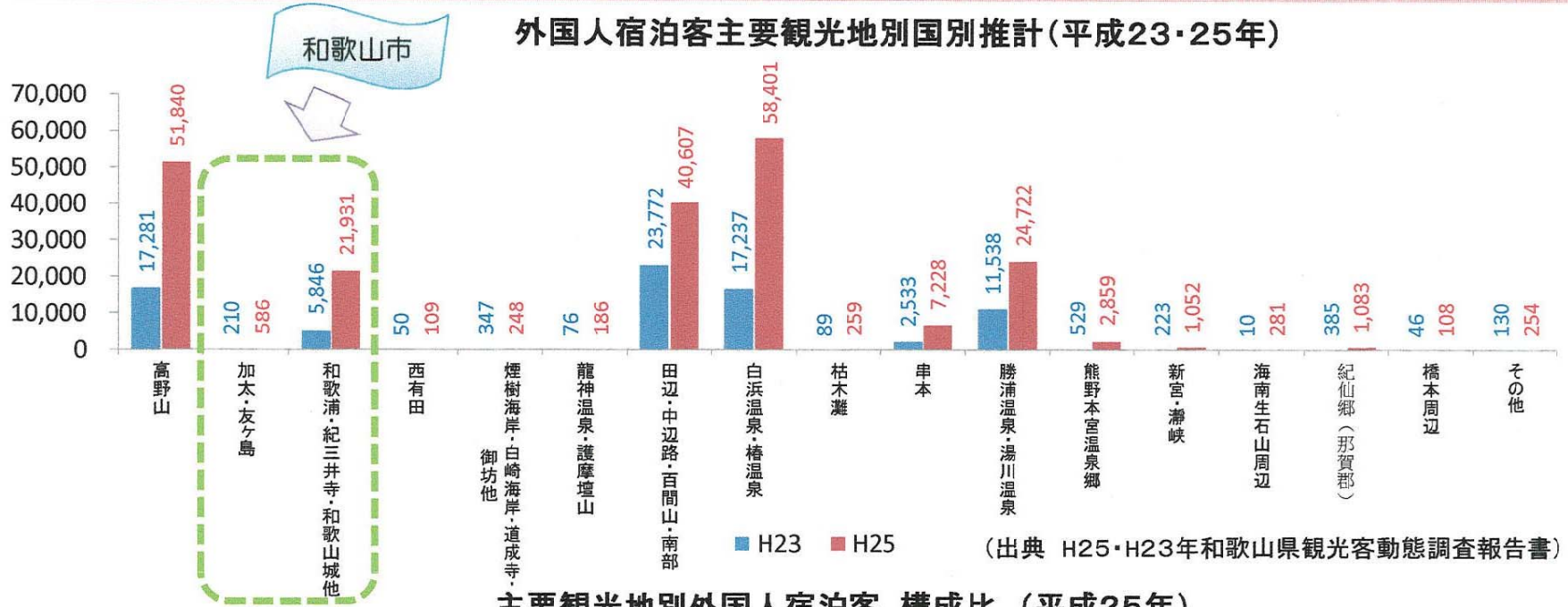
(出典 H25・H23年和歌山県観光客動態調査報告書)



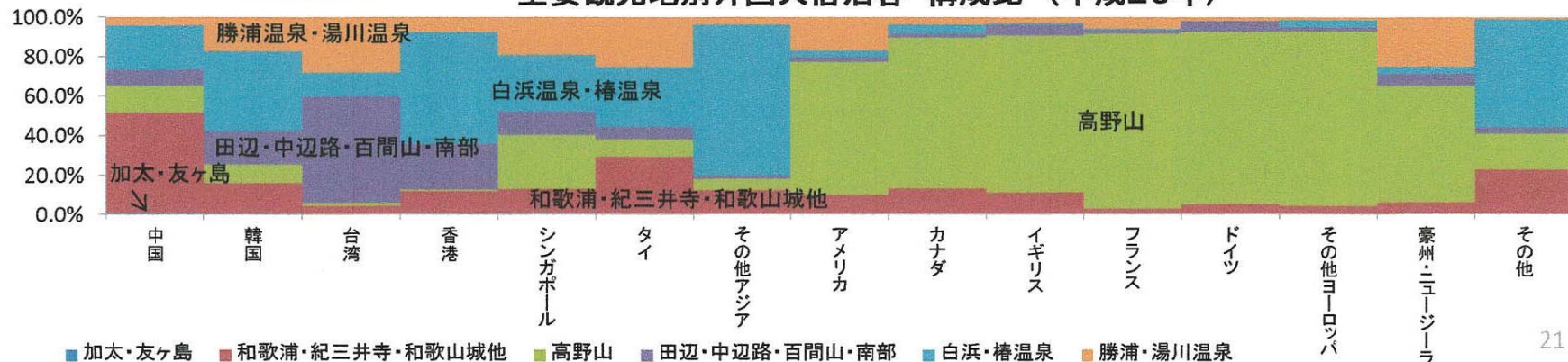
# 急増する外国人観光客③

◆市内のみならず、高野山や白浜温泉など県内各地でも外国人観光客が急増中。

外国人宿泊客主要観光地別国別推計(平成23・25年)



主要観光地別外国人宿泊客 構成比 (平成25年)





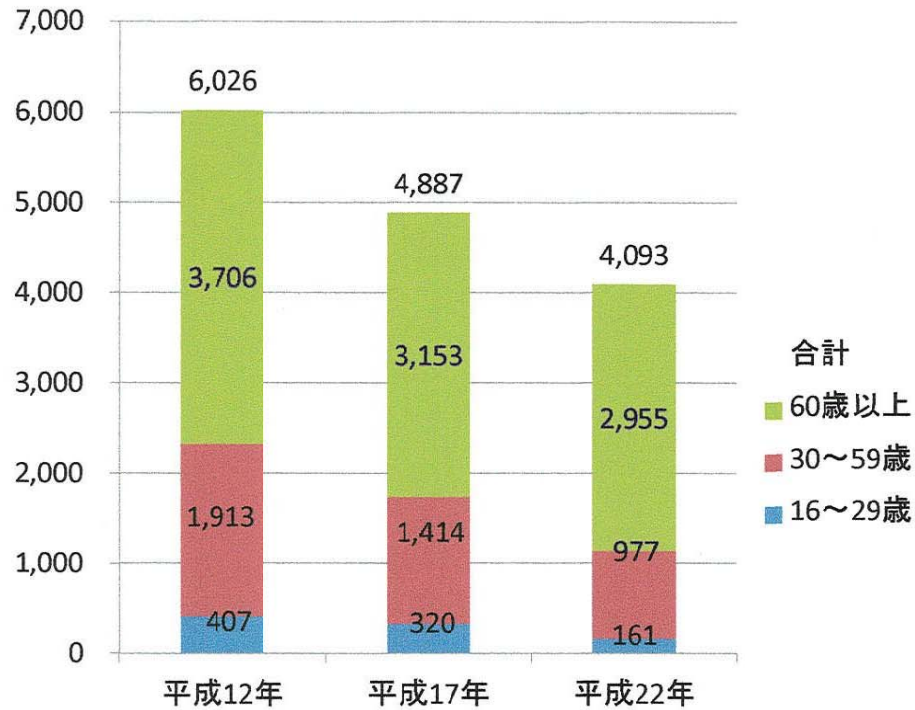
# 観光資源となる可能性を秘めた自然と歴史・文化の存在





# 和歌山市の農林水産業の現状

## 和歌山市の農業就業人口の推移



(出典 H12・H17・H22農業センサス)

## 和歌山市の漁業就業人口推移



(出典 H15・H20漁業センサス)



# 農産物や魚介類などの地域資源

★新生姜は生産量 全国2位★

## 主な農産物



和歌山大根



新生姜



白菜



キャベツ



## 6次産業化成功事例

生姜丸しぼり  
(Wakayama Ginger Ali)

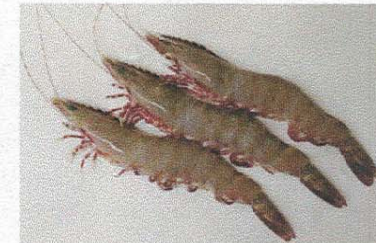
## 主な魚介類



まだい



わかしらす



足赤えび



# 和歌山市の地域ブランド 項目別ランキング

◆全国1,000市区町村を対象とした地域ブランド調査の結果を見ると、和歌山市は比較的上位に食い込んでいるものの、近畿の各県庁所在都市に比べると地域ブランド力が弱い状況にある。

地域ブランド調査 項目別ランキング(近畿地域県庁所在都市の比較) ※全国の1,000市区町村が対象

府県	和歌山県		滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
対象市	和歌山市	田辺市	大津市	京都市	大阪市	神戸市	奈良市
魅力度	165位	475位	222位	3位	42位	7位	35位
認知度	85位	582位	136位	1位	7位	3位	28位
情報接触度	160位	548位	159位	8位	4位	12位	57位
観光意欲度	171位	776位	342位	3位	52位	10位	28位
住居意欲度	285位	440位	146位	3位	27位	3位	46位
産品購入意欲度	92位	326位	365位	5位	46位	52位	129位
食品	76位	268位	364位	9位	38位	48位	156位
食品以外	587位	510位	243位	10位	194位	108位	52位

(出典 ブランド総合研究所「第9回 地域ブランド調査2014」)



# 現状把握から導く4つの課題

## 課題1

### 既存産業のさらなる成長促進

全国と比べて労働生産性が低くなっている既存の商業やサービス業の労働生産性を高めていくとともに、特色のある伝統地場産業が競争力のある産業として存続する方策を模索していく。

## 課題2

### 新規創業の促進と産業間連携の強化

世代や性別を問わず意欲ある起業家の新規創業を促すとともに、既存の異なる分野の産業間の連携を強化することで新たなサービスや付加価値を生み出し、地域経済の活性化に繋げていく。

## 課題3

### 人材の育成

生産年齢人口の減少により、今後は地域経済を担う人材の不足、経済規模の縮小が懸念される。市外流出の多い若い世代、前期高齢者、出産後の女性など、様々な人材が需要の高い産業の現場で活躍できるよう人材を育成していく。

## 課題4

### 地域資源の活用とブランド力の強化

外国人観光客の急増もあり観光分野の成長が期待されている。地域の持つ歴史や文化財などの観光資源を生かした誘客拡大を図る。また、農林水産物などの特産品を生かした新たな事業を展開し地域の魅力を創出発信していく。